

口の中にでき物ができた



粘液嚢胞は口唇粘膜を咬むことにより唾液の出る管が損傷し、排出された唾液が組織中に染み出て風船のように膨らんでできた病変です。痛みはなく、口唇粘膜に水泡のようなでき物がつぶれたり再発を繰り返します。刺激を与えず安静に経過をみると自然に消失するものもありますが、主に局所麻酔下で嚢胞手駆出術を行います。

舌や歯ぐきに白斑ができた



白板症は歯や義歯などの鋭利な部分が口腔粘膜に傷つけ白斑ができ、拭っても剥離しません。15%は癌に移行するため前癌病変といわれ、検査のうえ局麻下で切除術を行います。

舌がんかもしれない



舌がんは口腔がんで最も多く、初期症状は分かりにくく、患者様はご自分で口内炎と判断放置せず、早急に医療機関を受診することが重要です。その際は次のことに注意してください。

- 口内炎が治りにくい
- 舌に硬いしこりがある
- 舌を動かしにくく話しにくい
- しびれや麻痺など舌の違和感がある
- 病状が進行すると顎下リンパ節が腫れる

口腔内の感覚がおかしいと感じたら直ちに受診してください。患者様には心配な事態ですが当院で診察し、口腔がんについて検査や手術を専門とする病院口腔外科へ迅速に紹介し、スムーズに治療が受けられるよう対応します。